



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH

Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

ROTARY: Lend a Hand

「ロータリー：手を貸そう」

2003～2004年度・国際ロータリーテーマ／ジョナサンB.マジアベ会長

「楽しいロータリー — 手に手、心から心へ輪を広げよう —」

2003～2004年度・東京新南ロータリークラブテーマ／西澤正雄会長

【本日の例会】2004年4月2日 第834回例会

◎卓話 イニシエーションスピーチ

「自分の見た外資系金融企業」

当クラブ会員

イースピード・ジャパン(株)代表取締役 藤野 輝 幸 君

【先週報告】3月26日 第833回例会

◎会長報告

谷村義雄会員は病気治療で 聖路加国際病院にご入院しておられますので、しばらく例会をご欠席されます。一日も早いご回復をお祈り申し上げます。

◎親睦委員会報告(石井委員)

①4月6日開催の火曜会は、「私の履歴書」と題して、17年目の二宮会員、4年目の岩上会員の話があります。

②4月10日(土)の親睦旅行会の参加予定者は、現在22名です。女性の参加者が1名ですので、女性をお誘い下さい。

◎慶事披露 お誕生日祝／二宮利泰君(3月27日)、佐々木忠行君(3月30日)

◎出席報告

会員63名／出席40名・欠席23名(出席規定免除者8名)
ビジター 1名



3月26日 /12件 35,000円

2003～2004年 累計 1,051,649円

多額のご寄付を有難うございました。(敬称略)

入沢頼二／松永さん、初ニコニコご苦労様です。頑張ってください。岩上義明／税務調査も終わりホッとしています。佐々木忠行／松永さん、初ニコニコご苦労様です。誕生日祝有難うございます。鈴木貞史／バッヂを忘れて反省しています。武内光晴／はっきりしない天気が続いています。この時期に降る雨を「桜の開花を促す雨」と言う意味で「催花雨(さいかう)」と言うそうです。雨にもいろいろな名前があるものですね。田辺賢三／今日はフォーラムがあるので参りました。土屋東一／明日桜が満開だそうです。4月10日は多摩で、満開の桜を見ましょう。西澤民夫／松永さん、ご苦労様です。馬場一廣／メイクアップが多くて済みません。早川清隆／3週間出張していました。松永秀和／本日、裏表8年在学しました娘がめでたく「裏口卒業」できました。これで親業は卒業です。私も自分のための第2のスタートができます。山川政樹／メイクアップが続きました。

第2回クラブフォーラム

テーマ 「クラブ名称について」

日 時 2004年3月26日(金) 例会後 13:00～14:15

場 所 東京全日空ホテル B1 オーロラ

司 会 村山幹事

1. クラブ名称について

(何故今、名称について論議か?)

西澤会長

本日のフォーラムでは、わがクラブの名称のことについて議論をしていただきます。

みなさんの中には、急に今どうして議論なのかと思う方、やっとなり上げることになったのか、長い道のりだったと思う方、さまたまかと思えます。これは、古くて新しいテーマかと思えます。

これまで新南は分かりにくい、会員増強や、メーカーの時に、「しんなん」と呼ばれることが多く、中々「しんみなみ」と呼んでももらえない等の意見が以前からありました。その都度、新南RCの創立の趣旨、経緯など先輩方が説明、名門南クラブの子クラブとして誇りをもつようにということで理解されてはきたものの、このことはダブーとされ、若干消化不良のまま今日に至っています。

もう一つは、2001年のRI規定審議会の改定により、従来の区域限界、いわばテリトリー制がなくなり、どこのクラブでもどこの名称、地名を使うことができるようになったことです。

そこで、出てきたのが東京駒場RC(目黒)が青山RCと名称変更し、例会場も港区北青山に移すということがおき、これに南RCが苦言を呈したということもありました。麻布RCの場合は、新南RCの子クラブではありますが、地域内の名称を使ったということでは、同じような現象といえます。新南RCがいわゆる2階建て方式だったのに対し、3階建てともいえ、麻布RCのネーミングに際して、新南RCの名称の議論も一緒にやるべきとの意見もあったが、そのチャンスも先送りされてきました。こうした状況の変化から我々の本拠地を表すような地名のうち青山、麻布がなくなり、赤坂とか六本木(他クラブの企画?)など、次第に狭められてきて、それもよそからこの名称も使われてしまうという懸念が出てきたわけです。

理事会でも早く名称変更を届けておくべきとか、顧問会議でも名称変更反対ではないなどの意見もあり、こうした事情などを踏まえて、理事会で議論した結果、皆さんのご意見をできるだけ出してもらうことが大切、そのためには、先ずアンケートを実施の上、議論、意見交換の場をつくって、オープンにそして民主的にやろうということになり、本日のフォーラムに至りました。こうした議論を通してこのクラブの活性化、目標の共有化、すぐそこに20周年もあり、すばらしいクラブの発展につながることを祈願しています。

2. アンケート結果について

(アンケート結果、意見の纏め)

小杉(眞)クラブ奉仕委員長

名称変更(アンケート)調査結果

全体回答数 51名 未回答者数 12名 計 63名 回答率 81%

(1) 全体アンケート

		回答人数	比率
1-1	このままの名称で良い	9名	19.6%
1-2	名称変更したほうが良い	37名	72.6%
1-3	どちらともいえない	5名	7.8%
		51名	100%

(2) 区分別

A 創立会員並びに10年以上の会員

1-1	このままの名称で良い	6名	23.1%
1-2	名称変更したほうが良い	15名	57.7%
1-3	どちらともいえない	4名	15.4%
回答なし		1名	3.8%
		26名	100%

B 10年以下3年以上の会員

1-1	このままの名称で良い	2名	9.5%
1-2	名称変更したほうが良い	14名	66.7%
1-3	どちらともいえない	0名	0%
回答なし		5名	23.8%
		21名	100%

C 3年未満の会員

1-1	このままの名称で良い	1名	6.25%
1-2	名称変更したほうが良い	8名	50.0%
1-3	どちらともいえない	1名	6.25%
回答なし		6名	37.5%
		16名	100%

D 港区内に事業所、居住地

1-1	このままの名称で良い	6名	18.70%
1-2	名称変更したほうが良い	19名	59.4%
1-3	どちらともいえない	3名	9.40%
回答なし		4名	12.5%
		32名	100%

E 港区外に事業所、居住地

1-1	このままの名称で良い	3名	9.70%
1-2	名称変更したほうが良い	18名	58.1%
1-3	どちらともいえない	2名	6.40%
回答なし		8名	25.8%
		31名	100%

3. 意見交換

次週掲載いたします

【次週予告】4月9日 第835回例会

◎卓話予定

「社会福祉の最近の動向」

社会福祉法人逗子市社会福祉協議会会長 宮 武 保 義 氏
(当クラブ会友・98～99年度会長)

2004年1月28日開催された2750地区第2回ロータリー財団委員長会議における、ポリオの会村島宏氏による講演「ポリオについて」から

1. ポリオの世界的現況

WHOの2003年9月の報告によるとポリオ患者発生0地域は南北アメリカ地域、西太平洋地域、ヨーロッパ地域であり、ポリオ常流行国は南アジア;インド、パキスタン。中東;アフガニスタン、エジプト。アフリカ;ナイジェリア、ニジェール、ソマリアの7ヶ国に減少している。

WEOでは2005年に全世界ポリオフリー宣言を行うことを目標としており、国際ロータリー財団もこれに呼応して拠金活動を展開しているところである。

日本においては1961年、ワクチンの導入以来急速に発症は減少し、ここ20年来発症は皆無である。ポリオは既に過去のものとなり、忘れられた病気といってもよいであろう。ただし、ポリオ野生株からの発症はないものの生ワクチン投与による発病、また生ワクチン服用児から親が感染した二次感染が若干ながら発生しており、より安全度の高い不活性化ワクチン(注射による)への変更が求められている。

ポリオは患者や感染者の糞便、汚染された飲食物を通じて経口感染し体内に侵入する。潜伏期間は3～21日、通常は7～12日を経て発病、軽いものはかぜ症状や胃腸症状であるが重症例では筋痛、頭痛、頸部硬直、手足や諸筋肉のマヒが現れる。

現在でもワクチンによる予防以外は治療方法はなく、後遺症に対する対症療法があるだけである。

戦中戦後の食糧難や衛生状態の悪い時代に多発したことは、今日民族紛争などで荒れ果てている国々でポリオ発症が絶えないことと符合しているように思える。

2. なぜ今ポストポリオか(PPS・ポリオ後症候群について)

乳幼児期に感染、後遺症はあるものの症状は安定しそれなりに頑張っていたが、中高年になってから急速に筋力の低下や萎縮により、嚥下や呼吸器障害、歩行困難や腰痛関節痛など、これまでなかった手足にも新たな運動障害が発生するようになってきた。

原因についてはポリオにより減数している運動神経細胞が、加齢とともに急速に減少した結果と考えられるが、他に似たような症状の病気もあることから、PPSと必ずしも断定しない立場の人たちもいる。

厚生労働省の専門機関の調査によると、ポリオに由来する身体障害者は91年には43,000人であったものが、01年には52,000人に増えているということである。新規発症者がいない今、これは明らかにPPSが原因と推測されている。

3. ポリオの会についてー最後の1パーセントの撲滅のために

1995年ポリオの会結成後、現在全国に8支部、約1,200人の会員を有し、行政や医療機関への啓蒙、会員相互の情報交換、装具士、理学療法士、医療器具メーカー、福祉機器製作会社等々との連携を図って来たが、何よりも訴えたいことは、①PPSの社会的認知と社会的支援、②ポリオ根絶とともに、これから必ず起きてくる途上国(あえて途上国と言う)のPPS問題の啓蒙と救済、ということである。ポリオは終わった、が、未だ終わってはいないのである。

なお、村島宏氏自身がPPSの経験者とのことである。

(まとめ土屋)

東京新南ロータリークラブ [http://www.h3.dion.ne.jp/~newsouth]

【会長】西澤正雄 【副会長】小杉眞史 【幹事】村山公士 【会報委員長】石井謙次 【今週の担当】土屋東一
事務局/〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階 TEL: 03-3505-5976 FAX: 03-3505-6004 new-south@h9.dion.ne.jp
例会日・例会場/毎週金曜日 12時30分 東京全日空ホテル 〒107-0052 東京都港区赤坂1-12-33 TEL: 03-3505-1111